

CSR活動報告書  
2018～2019



FUJIKURA COMPOSITES



## 目次

内容	頁
CSR 調達基本方針 .....	4
グリーン調達の提言 .....	5
SDGs の推進 .....	6
全国植樹祭 .....	7
藤倉学園へ支援 .....	8
NPO 支援「エコキャップ」 .....	9
NPO 法人 夢職人 支援活動 .....	10
献血活動 .....	11
近隣中学校工場見学 .....	12
労働組合主催「家族参観」 .....	13
加須市推進リサイクル事業に協力 .....	14
大利根工業団地「一斉美化活動」 .....	15
岩槻工業団地事業協同組合「春季クリーンデー」 .....	16
藤栄運輸が優良申告法人として表敬 .....	17
安全運転管理業務「優良事業所」表彰 .....	18
防災協定締結 .....	19

企業理念「豊かな暮らしと安心を支える製品を生み続けます。」に基づき、安全・安心で高品質な商品・サービスをお客様にお届けするため、公正・公平な取引を実施し、サプライチェーンのお取引先とともに、人権・労働基準・環境などの社会的責任にも配慮した調達活動を推進します。

お取引先との良好なパートナーシップを構築して、お互いの情報を共有し、お互いの価値観を高めあいながら品質の良い、利便性の高い商品を市場に継続して供給することで、「人々の安心を支え社会の豊かさ」に貢献します。

### 1. 法令遵守と国際行動規範の尊重

各国の法令を遵守し、国際行動規範を尊重した公正・公平な調達活動を推進します。

### 2. 人権・労働・安全衛生への配慮

基本的人権を尊重し、労働環境や安全衛生に配慮した調達活動を推進します。

### 3. 品質・安全性の確保

「品質方針」に準拠し、品質・コスト・供給の最適な水準に基づく高い品質と安全性の確保をめざした調達活動を推進します。

### 4. 地球環境への配慮

「環境・労働安全衛生(OH&S)方針」に準拠し、地球環境に配慮した調達活動を推進します。

### 5. 情報セキュリティの保持

調達取引に関わる機密情報および個人情報厳格に管理します。

### 6. 社会との共生

社会との共生に向けた社会貢献への取り組みを推進します。

環境への影響が少ない製品を優先的に購入しましょう

ISO14001 取得している会社から優先的に購入しましょう

現在の地球は、温暖化、生物多様性の喪失、大量廃棄といった環境上の諸問題によって、深刻な危機に晒されています。今後、人口増加や経済成長により環境問題がさらに深刻化する可能性があります。また、環境問題の原因となる環境負荷の発生は、企業の経営活動から生じている部分も多くを占めます。それゆえ、企業が自らの経営活動において環境配慮を志向していくことが、将来の環境問題の解決に大きく貢献していくものとなります。

環境問題の深刻化は、企業にとって新たな事業機会やリスクになり得ます。例えば、化学物質などの環境規制の強化は、その規制に対応できる企業にとって事業機会になるものですが、対応が困難な企業はその事業を遂行できないリスクに直面することになります。また、顧客や従業員などの環境意識の高まりは、環境配慮型の製品を販売する機会となりますが、市場からの監視の目を厳格化する要因にもなります。このように、「環境」と経営が密接な関係となる企業にとっては、環境課題は経営上の重要な課題となります。

環境経営を直接の取引先のみならず、さらに川上の取引先にも広げることで、原料の調達から製品等の使用・廃棄まで含めたライフサイクル全体の環境負荷の低減と付加価値の最大化を図っていくこと（バリューチェーンマネジメント）が可能となってきます。このバリューチェーンマネジメントを推進するために、グリーン調達において取引先の環境経営を評価する取組は不可欠です。

他方、サプライヤーとなる企業にとっても、取引先のバリューチェーンマネジメントに応え、環境経営を推進することは、自社にとっての事業機会の獲得とリスクの回避につながります。さらに、より多くの企業にグリーン調達が広がることで、社会システム全体が環境に配慮したものとなり、持続可能な社会を形成していきます。

※ 環境省「グリーン調達推進ガイドライン」より抜粋

国連が提唱している SDGs の 17 の目標と藤倉コンポジットの企業活動あるいは業務の関わりについて結びつきを検証して SDGs の実現を推進していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



# 全国植樹祭

第69回全国植樹祭が平成30年6月10日に福島県南相馬市がメイン会場として開催されました。原町工場から労働組合のメンバー8名が記念式典に参加し植樹を行いました。



## 藤倉学園へ支援

藤倉学園は、創業者藤倉善八の実弟である中内春吉が、社会事業家の川田貞治郎氏に伊豆大島の土地 3 万坪と 23 万円の資金を託し、障害児支援の施設として大正 8 年(1919 年)に開設しました。

現在は、伊豆大島で障害者支援施設とグループホームを、東京都八王子市で障害児入所施設・短期入所施設と障害者通所施設とグループホームを運営しています。

社内各事業所に設置している飲料水等の自動販売機の売上の一部を、藤倉学園に寄付して支援を行っています。



緑豊かな自然の中で、明るく温かく清潔で  
安心できる安全な日常生活が送れるように支援します。

社会福祉法人 藤倉学園

Home & School for Mentally Retarded Established in 1919



## NPO 支援 「エコキャップ」

ペットボトルのキャップを各事業所で回収して NPO 法人「エコキャップ推進協会」に提供しています。焼却せずリサイクルすることで、環境保全(CO2 削減)や省資源(循環型社会形成)に貢献できます。さらに、提供したエコキャップは再生プラスチック原料として換金し、医療支援、ワクチン支援、障害者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動に使用されています。



地球に未来を、  
子どもに未来を。  
エコキャップ運動は  
NEXT STAGE へ!

エコキャップ運動が始まって物10年が経ちました。  
「ペットボトルキャップをリサイクルするのよ、  
キャップはゴミじゃなくなってしまおうの?」  
という女子高生の質問から生まれたこの運動は、  
驚くほど大きな反響を呼ぶことになりました。  
キャップをリサイクルすることにより CO2 が削減され、  
色々の製品が生まれ、皆さまの笑顔を届けていく。  
これからもエコキャップ運動から生まれる  
さまざまなアイテムに期待ください。

<p>CO<sub>2</sub>の削減</p> <p>キャップ CO<sub>2</sub>削減量 <b>1kg → 3kg</b></p> <p>キャップ1kgをゴミとして焼却しないことで 地球の温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>が 約3kg以上削減されます。</p>	<p>雇用創出</p> <p>キャップの再資源化、分別の仕事を増やせば、 高齢者に行なってもらい 雇用創出・自立支援に繋がります。</p>	<p>再資源化</p> <p>キャップの再資源化から色々の製品が生まれ、 また皆さまの生活に役立ていく 循環型社会を実現しています。</p>
--	---	--

We are ECOCAP!



### 地球の未来を、 子どもの未来をつくる。 エコキャップ運動

遊ぶ、食べる、作る。人はあらゆるモノ・コトをつくりだします。つくる原点は、「いいモノ・いいコト」。  
エコキャップ推進協会が、キャップをリサイクルすることで「いいモノ・いいコト」をつくりだすことに貢献しています。  
ペットボトルのキャップから快適な環境が生まれ、誰がいちばん困るかを、そして再生プラスチック製品が作られる。  
なにげない生活のなかでキャップからつくられた「いいモノ・いいコト」にたくさん出会っていただければ。  
私たちはエコキャップ運動を継続して参ります。

<p>環境を 造る。</p> <p>キャップ CO<sub>2</sub>削減量 <b>1kg → 3kg</b> CO<sub>2</sub>の削減</p> <p>キャップ1kgをゴミとして 焼却しないことで 地球の温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>が 約3kg以上削減されます。</p>	<p>仕事を 創る。</p> <p>キャップの再資源化、分別の仕事を 増やせば、高齢者に 行なってもらう 雇用創出・自立支援に繋がります。</p>	<p>商品 を作る。</p> <p>キャップの再資源化から 色々の製品が生まれ、 また皆さまの生活に役立ていく 循環型社会を構築しています。</p>
---	---	--

We are ECOCAP!





## 献血活動

「赤十字血液センター」からの要請を受けて、岩槻・加須・原町の各工場にて献血活動を年2回行っています。



## 近隣中学校工場見学

岩槻工場にて、近隣の中学校から生徒の工場見学実施の要請を受けて、毎年開催しています。



## 労働組合主催「家族参観」

岩槻工場内のエンジニアリングセンターに勤務している従業員のうち、子どものいる家族を対象に、労働組合が主催して職場見学を行いました。

会社で働いているお父さんお母さんの姿を直に見ることで、何かを感じ取ってもらうことを趣旨としています。



## 加須市推進リサイクル事業に協力

加須工場にて大量に廃棄される段ボールを、加須市環境安全部資源リサイクル課を通じて業者へ引渡すことで、加須市のリサイクル事業に貢献しました。そうすることで地域社会の高齢者医療活動や子ども事業に役立てることに繋がっています。



## 大利根工業団地「一斉美化活動」

加須工場が加盟している大利根工業団地協議会からの要請を受けて、「工業団地一斉美化活動」に参加協力し、工場周辺の歩道を中心に清掃活動を行いました。



## 岩槻工業団地事業協同組合「春季クリーンデー」

岩槻工業団地事業協同組合からの要請を受けて「春季クリーンデー」に参加協力しました。  
工場近くの元荒川沿いの土手周辺から工業団地北部に至るまでの道路沿い及び工場周辺の清掃を実施しました。

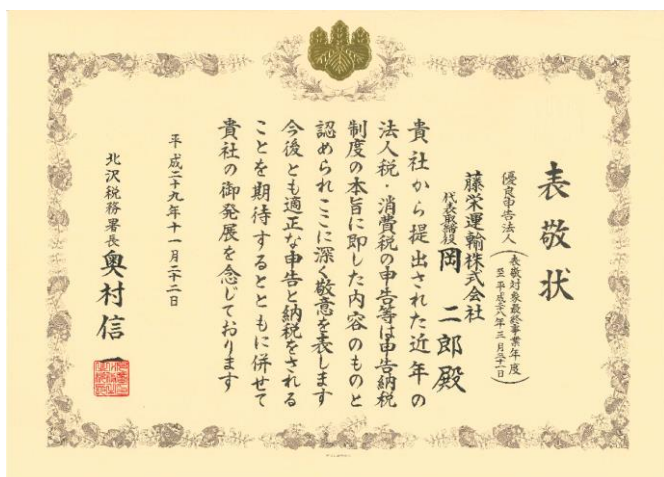




## 藤栄運輸が優良申告法人として表敬

優良申告法人とは、税務署が企業の経営内容を細かく分析した上で、表敬基準をクリアした該当企業を選別認定する制度です。優良申告法人に選定されるのは法人全体の約 1% 足らずで、企業にとって大変名誉なことです。

『資本コストに見合った利益を上げて、正しく納税することは、企業の社会的責任の一つです。』



## 安全運転管理業務「優良事業所」表彰

岩槻警察署・岩槻地区安全運転管理者協会より『優良事業所』として表彰されました。

安全運転管理者の選任事業所として、交通事故防止に努め、交通安全教育を推進してきたことに対して評価されました。

今後も、他事業所の模範となるよう、より一層従事者の交通事故防止や交通安全教育の推進に取り組んで参ります。



## 防災協定締結

加須市より、利根川の氾濫を想定し、水害時の一時避難所として加須工場を指定したいとの要望に応え、防災協定を締結しました。





藤倉コンポジット株式会社

〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC 有明イーストタワー10 階

TEL: 03-3527-8111 FAX: 03-3527-8330

お問い合わせ先：管理本部 CSR 室

発行年月日 2019/8/1